

	1	2・③・4
学習の展開と学習活動	1 心身をほぐす。(リズムダンス)	挑戦課題 みんなと体を使って表現することができるかどうか。 1 心身をほぐす。(リズムダンス) 2 表現する。 (2時：ソフトクリーム, アリ, キャッチバレーボール) (3時：ぞうきん, フィギュアスケート, 納豆) (4時：バドミントン, クモの巣, クラッカー) 3 共有する。 4 問いを確認する。 問い どうすれば、動きを広げることができるかな？ 5 表現する。【小人の世界 (2時：学習時間編, 3時：給食時間編, 4時：休み時間編)】 6 まとめをする。 7 振り返りをする。 8 振り返りをする。 【追究のための手がかり】 ・体 ・友達との関係 ・位置 ・速さ 9 挑戦課題を共有する。
	2 約束を確認する。	
	3 表現する。 ・新聞紙 ・そうじ (まどふき) ・かぶを抜く	
	4 共有する。	
	5 問いを確認する。 問い どうすれば、動きを広げることができるかな？	
	6 表現する。 ・洗濯 ・打ち上げ花火	
	7 まとめをする。	
	8 振り返りをする。	
	9 挑戦課題を共有する。	
学びの姿	・ 身近な生活などの題材から主な感じや特徴を捉え踊り方を試行錯誤する。 ・ 状況変化が起こった時の動きの広げ方を試行錯誤する。	・ 身近な生活などの題材から主な感じや特徴を捉え、踊り方を試行錯誤する。 ・ 状況変化が起こった時の動きの広げ方を試行錯誤する。 ・ 表したい感じを表現するために、手がかりをもとにして動きの広げ方を試行錯誤する。
主な教師の支援	・ 表現は人と違ってよいこと、違いがあるからおもしろいということを確認し、思いきり体を動かすことができるようにする。	・ 前時で確認した手がかりをもとに動きを広げている児童を称揚したり、一緒にやってみたりすることで、動きの広げ方の見通しをもつことができるようにする。 ・ 状況変化が起こるようなシチュエーションを与えることで、イメージを広げ、踊り方を変えることができるようにする。 ・ 空想の世界に引き込むような声掛けをしたり、音楽を流したり、写真や絵を提示したりすることで、世界に没入しやすくすることができるようにする。
	・ 毎時間、心身をほぐす運動を取り入れることで、心と体をほぐし、思い切り体を動かすことができるようにする。 ・ はだしで取り組むことで、足首や指先まで意識して踊ることができるようにする。 ・ 友達と自由にかかわることができるようにすることで、友達と一緒に表現する楽しさを感じたり、友達の動きを見て動きを広げたりすることができるようにする。 ・ マイクを通して、教師が児童の踊りを称揚したり、紹介したりすることで、自然と友達の踊りを見て動きを広げることができるようにする。 ・ 授業の前半では、身近な題材を取り上げることで、イメージをもちやすくし、即興的に踊ることができるようにする。 ・ 体・友達との関係・位置・速さを手がかりに変化をもたせることができるような題材を与えることで、多様な動きを経験し、表したいものを表すことができるようにする。	
計画評価	ア・サ	イ・カ・キ・シ・ス



